

スケジュールの使い方

幼児教育研究所

お子さんと、長い 1 日ずっと一緒に過ごすことは、とても大変なことですね。規則正しくしようとしてもなかなか難しいものです。学校の時間割のように「どんな順番で」「何をする」が分かりやすくなると、規則正しく生活することができます。

この「スケジュール」は、子どもたちの生活がわかりやすくなるように、1 日の活動などを時間割のように示し、生活しやすくするための“おたすけグッズ”です

使い方

- ① まずは「やるべきこと」を数字の横に順番にはりつけます
- ② 「やるべきこと」をお子さんが行ったら、お子さんの大好きなシールを右側に貼ります。
保護者が花丸を書いてもいいですね！

1	 かおあらい	
2	 ごはん	
3		
4		
5		



使い方のポイント

- ✓ **スケジュールを設定するのは、保護者**です！こどもに「決めてもいいよ」と言って決めさせてしまうと、子供は「自分の好きなようにしてもいいんだ！」と勘違いしてしまい、「自分の好きなことしかしない」ようになってしまう危険があります
- ✓ スケジュール通りにできたら、**必ずしっかり褒めましょう**。全部できなくても、**7割**できたら褒めます。（5つのスケジュールなら3つできたら合格です）
- ✓ **右側のシール（または○）の数でご褒美をあげてもいいですね**。
1つから5つまで、お楽しみポイントでご褒美が変わるのもいいですね。ご褒美は“子どもの頑張りをわかっているよ！”というサインです。「お菓子」、「アイス」などの好きなものでも良いですし、「お母さんと絵本を読む」「お父さんと公園に行く」「夕飯のメニューを選べる」などの行為でもいいですね。
- ✓ スケジュールを立てるときには、こどもの楽しみになる活動も盛り込みましょう。